

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は母体組織の理念そのままではなく地域密着型サービスとして、サービスを提供する上で利用者のニーズ、事業所の現状にあった独自に作り上げた理念である事が望まれる。	さんふらわあ石橋独自の理念を新たに掲げる。	「いつまでも ゆったり いきいき 自分らしく。」と現状のターミナルまでを絡めたケア方針を踏まえて、このように設定した。	1ヶ月
2	35	災害はいつ起こるか判らないため、昼夜通した地震、風水害、火災の各種災害の具体的な対策について、日頃から家具の固定や落下防止、避難路の確認点検など地道な対策や訓練の積み重ねを期待したい。	具体的な災害に対する避難訓練と、職員に関する教育の実施。危険箇所の改善	職員と話し合い荷物の配置などで危険である場所の洗い出しをし改善を行う。あわせて、消防署に災害時の具体的な対処方法や避難方法を教授願い、訓練に組み入れる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。